

中間報告書

令和7年9月1日現在

1 事業名 食農教育を柱とする「いのちの広場」プロジェクト

2 実施期間 令和7年5月8日～令和8年2月28日

3 事業内容

①事業の目的・概要

不登校やひきこもりの人、複雑な問題を抱えている人だけでなく、井笠地域で暮らす誰もが幸せを感じることができるよう、人と人を繋ぐ仕組みをつくることを目的とする。

「いのちの広場」では、「いのち」をキーワードに食農教育を交流ツールとして、地域住民との交流・学習・実践の場をつくる。

「いのちの広場」プロジェクトでは、「心の居場所勉強会」「みんなで一緒に思い出つくろうプロジェクト」のイベントを通じ、世代を超えた交流の場とし、双方向の理解を深め、人と人を繋ぐ仕組みをつくる。

②事業の流れ・進捗状況等

＜実施したこと＞

- 「いのちの広場」のチラシ作成・啓発活動・繋がり拡大（別紙チラシ参照）
- 「いのちの広場」プロジェクトのチラシ作成・啓発活動・繋がり拡大（別紙チラシ参照）
- 「いのちの広場」プロジェクトとして、心の居場所勉強会の開催
 - ・「AI×IX×AI わたしをまとうブルーステージ」（別紙チラシ参照）
159名参加（ボランティア含む）
 - アンケート実施（別紙チラシ参照）
 - イベント周知にあたっては、井原青年会議所と連携した。
- コミュニティチャンネル（井笠圏域ローカル放送）での啓発活動

＜今後、実施すること＞（別紙チラシ参照）

- 「いのちの広場」の継続実施
- 「いのちの広場」プロジェクトとして実施
 - ・みんなで一緒に思い出つくろうプロジェクト
 - *サンセットファミリーデイキャンプ（9月20日）
 - *井原市初ボードゲームの祭典（10月18日）
 - ・心の居場所勉強会
 - *ワークショップの実施

③これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

「いのちの広場」プロジェクトとして実施した心の居場所勉強会には、井笠地域の不登校・ひきこもり当事者や家族だけでなく、地域住民の多くの参加があった。参加者からは、「不登校の子どもや不登校経験者と家族の話に感動した」「自分の言葉で伝える勇気が印象的だった」「当事者だけでなく家族を支えることが大切」「周囲が変わる必要がある」「知らない世界だったので今後関心を持ちたい」等、不登校・ひきこもりに対する理解を深める機会になった。

今後も「いのちの広場」での地域住民との交流や「いのちの広場」プロジェクトのイベントを通じ、様々な課題を抱える人が社会とのつながる機会になるとともに、様々な機関連携が促進され、井笠地域で暮らす誰もが幸せを感じることができる、人と人を繋ぐ仕組みづくりに取り組みたい。

④課題等

不登校やひきこもりの人、複雑な問題を抱えている人が、孤立しないよう社会との接点をもつ機会をいかにつくっていくかが大切であり、家族、行政等の専門機関、その他の支援機関の連携が進むような仕組みづくりが必要と思われる。

4 参考事項・資料

収支精算書見込又は収支（変更）予算書

5 次年度以後の事業展開

次年度の事業展開	事業展開の方向性 (以下のチェック欄のいずれかに「✓」を記入してください。)
	<input type="checkbox"/> 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。
	<input checked="" type="checkbox"/> 備中地域みらいづくり支援事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
	中期的な目標を実現させるための具体的な事業の内容
	・「いのちの広場」プロジェクトの継続的事業の実施 ・心の拠り所事業の実施 ・みんなの冷蔵庫（ばあちゃんの冷蔵庫）の実施 ・備中大納言小豆の活用術の実施 など



AI×I×AI 参加者アンケート

1. あなたについて教えてください

●年齢（☒をつけてください）

☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代 ☐ 90代以上

●お住まいの市町村（☒をつけてください）

☐ 井原市 ☐ 笠岡市 ☐ 浅口市 ☐ 矢掛町 ☐ 里庄町 ☐ その他（ ）

2. イベントについて

●本日のイベントをどこで知りましたか？（複数回答可・☒をつけてください）

☐ チラシ ☐ ポスター ☐ SNS ☐ 知人の紹介 ☐ その他（ ）

●イベント全体の満足度を教えてください（☒をつけてください）

☐ とても満足 ☐ 満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満

●印象に残ったプログラムやお話がありましたか？

3. 不登校・ひきこもりに関すること

●あなたの身近に、不登校やひきこもりの経験がある方はいらっしゃいますか？

（複数回答可・☒をつけてください）

☐ 自分自身 ☐ 家族 ☐ 友人・知人 ☐ いない

●地域に不登校やひきこもりの方が「どのくらいいる」と感じていますか？（☒をつけてください）

☐ とても多いと思う ☐ 少しはいると思う ☐ あまりいないと思う ☐ よく分からない

●あなた自身の「不登校やひきこもり」に対する関心度はどのくらいですか？（☒をつけてください）

☐ とても関心がある ☐ 関心がある ☐ 少し関心がある ☐ あまり関心がない

●不登校やひきこもりのサポートについて、もっと知りたいこと・必要だと思うことは何ですか？

4. 今後、どのようなテーマや企画があれば参加してみたいですか？

5. 本日のイベントへの感想やメッセージをご自由にお書きください

貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。
みなさんの声を、今日からの活動に活かします！

みんなでつくる
「ありがとう」がいき交うまち
「いのちの広場」
プロジェクト

人は人とのつながりの中で、少しずつ前に進めます
「いのちの広場」プロジェクトは
不登校やひきこもり、さまざまな困難を抱える方をはじめ
地域で暮らすすべての人が安心して出会える場をつくっています
今回は、「感じる」「楽しむ」「集う」の
3つのテーマでイベントを開催
一緒に笑って、体感して、思い出をつくりましょう

3つのイベントで感じる・楽しむ・集う

感じる

夕暮れと星空の下で
サンセットファミリー
デイキャンプ

美星の星空を見上げながら
家族や仲間と食べて語らおう！

9月20日(土)
17:00-20:00

！美星 星の郷 ふれあいセンター

楽しむ

井原初開催！
みんなで遊ぼう！
ボードゲームの祭典

誰でもすぐに楽しめるボードゲームが
いっぱい！笑顔が広がる時間に！

10月18日(土)
13:00-16:00

！地場産業振興センター5階

集う

みんなでつくる
「いばしょ」のカタチ
「心のいばしょ」勉強会
それぞれの体験から安心できる
「いばしょ」のカタチを語ろう！

11月23日(日)
13:00-15:00

！地場産業振興センター5階

各イベントのお申し込みはQRコードから

お問い合わせ

一般社団法人mimoza

✉ 551026yamakyo@gmail.com

☎ 090-5697-5338 (代表：橋本)



参加者募集

AI × I × AI

わたしをまとうブルーステージ

「まとうことで、“わたし”に出会う」

“わたし”を語ってみたい
あなたへ——

日時：2025年8月30日(土)

時間：13:00~16:00

場所：井原市地場産業振興
センター 5 階

主催：mimoza



わたしをまとう—— 関わりと想いが交わるステージ。

このイベントは、不登校や生きづらさを経験した若者たち、
そして彼らを支えてきた保護者・支援者・地域の人たちが、
それぞれの「関わり」と「想い」を表現し、発信するための舞台です。

「まとうこと＝自分と向き合うこと」。

井原の特産品である“デニム”を身にまとい、
自分のストーリーを語り、来場者と分かち合う——
そんな体験を一緒につくります。



AI×I×AIに込めた想い

3タイトル「AI×I×AI（あい・あい・あい）」には、
藍染の“藍（AI）”、わたし自身の“I（アイ）”、
そして誰かとつながる“愛（AI）”という
3つの意味が込められています。

なんこ（2006年生まれ・18歳）
不登校を経験し、長く人との距離を感じながら
過ごしてきた
現在は京都の大学に通いながら、
フリーランスで広告や作品撮りの
モデル活動をしています
黒髪ロングと豊かな表情が特徴で、
どこか大人びた雰囲気と素の笑顔が魅力

【当日のプログラム】

第1部 | わたしをまとうファッションショー

- ・ 出演者：出演希望者、保護者、支援者、地域の理解者など
- ・ デニムをまとい、それぞれの想いを語るランウェイステージ

第2部 | なんこさんトークショー

- ・ ご自身の体験や、関わった人への想いを語るライブトーク
- ・ 出演者とのクロストーク、観客との対話タイムあり

Step 1 | 6月下旬
出演者募集スタート

Step 2 | 7月下旬
ストーリー収集・顔合わせ

Step 3 | 8月中旬
リハーサル・最終調整

Step 4 | 8月30日
本番当日！ファッションショー＋トーク

このステージに立ちたい方を募集しています
語ることに自信がなくても大丈夫
“そばにいる”だけの関わり方もあります
詳細・申込みはこちら



551026yamakyo@gmail.com

募集締切：2025年7月18日